

平成31年度当初予算知事審査における主要な議論（県民生活部）

■ 「ラグビーワールドカップ2019大会準備推進費」(B53)

「ラグビーワールドカップ2019レガシー整備費」(B54)

- 知事 本番を迎えるにあたって最優先で取り組まなければならないことは何か。
- 担当部局 観客輸送と気運醸成である。観客輸送についてはテストイベントの結果などを踏まえ、地元市と連携して取り組んでいく。気運醸成については、テレビ、ラジオ、映画館におけるCMなど、あらゆる手段を使ってPRを行っていく。
- 知事 気運醸成については、それぞれの手法によりPRできる人数の規模感やPRするエリアなどを意識しながら取り組むこと。
- 知事 大会後のレガシー創出については、地元市としっかり連携できているのか。
- 担当部局 県、地元市、商工会議所などが連携して、大会後のレガシー創出のために官民連携で地元活性化のためのアイデア出しを行っている。
- 知事 県の役割は取組内容の全体像を俯瞰してチェックしていくことである。県、市、地元団体それぞれが適切な役割を果たしながらレガシーを創出できるようにすること。

■ 「東京オリンピック・パラリンピック推進事業費」(B55)

「東京オリンピック・パラリンピック推進事業費（債務負担行為）」

- 知事 オリンピック・パラリンピックに向けて準備に時間のかかるものはあるのか。
- 担当部局 都市ボランティアやホームステイは準備に時間がかかる。ホームステイについては県内には多数受入れ予定の家庭があるが、その方々を対象とした研修を実施する必要がある。
- 知事 ホームステイの経験がある家庭は良いが、初めての家庭は色々わからないことがあるはずだから、丁寧に取り組むこと。
- 知事 本番に向けて日本の文化を上手く発信させる取組をもっと取り入れてはどうか。例えば海外の人が憧れる生け花や茶道などを色々な取組の中に取り入れて、日本に来たなという雰囲気を出せるようにしたほうが良い。
- 担当部局 オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムを実施するつもりなので、ご指摘の点を取り入れて実施していきたい。

平成31年度予算見積調書

課室名: ラグビーワールドカップ2019大会課

担当名: 広報・普及担当

内線: 6876

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B53	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進費	
B54	ラグビーワールドカップ2019レガシー整備費				土木費	都市計画費	公園費	公園等施設整備費	
事業期間	平成27年度～平成31年度	根拠法令	スポーツ基本法第19条 埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例		宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化		
					分野施策	061350	スポーツの振興		
1 事業の概要 平成31年度にラグビーワールドカップを開催するため、その開催準備に当たる。 また、各種広報活動を行い、大会のPRを行う。 (1) 埼玉県推進委員会負担金 717,478千円 (2) 課運営費 18,868千円 (3) 公認キャンプ地整備費 115,416千円 (4) 協賛宝くじ拠出金 134,000千円 (5) レガシー(ハード)事業 604,978千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ラグビーワールドカップ大会埼玉県推進委員会負担金 717,478千円 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会のラグビーワールドカップ2019専門委員会への負担金 イ ラグビーワールドカップ大会課運営費 18,868千円 課の運営経費 ウ 公認キャンプ地整備費 115,416千円 公認チームキャンプ地のトレーニング施設の基準充足に必要な環境整備、公認チームキャンプ実施に伴う施設利用料の負担 エ ラグビーワールドカップ大会協賛宝くじ拠出金 134,000千円 協賛宝くじ収益金の日本組織委員会への拠出 オ レガシー(ハード)事業 604,978千円 大会後のレガシー創出と、大規模大会誘致等のための整備 (2) 事業計画 ア 平成29年度 推進委員会組織による各種広報、気運醸成(通年)、開催都市及び関係機関との調整、各種基本計画の作成等 イ 平成30年度 各種実施計画の作成、新ラグビー場こけら落とし等 ウ 平成31年度 テストイベント、大会の開催(9月～10月) 大会後のレガシー創出と、大規模大会誘致等のための整備 (3) 事業効果 ア 試合開催都市として世界中に埼玉県をアピールすることによる知名度の向上 イ スポーツ機運の向上による社会の活性化 ウ 地域経済の活性化					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 (1)、(3)の事業費の1/2に対し、特別交付税措置 (5)の一部 地域活性化事業債 充当率90% 交付税措置30%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×21人=199,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		諸収入	県債						
決定額	1,590,740	701	604,000					986,039	1,288,662
前年額	302,078	876						301,202	

平成31年度予算見積調書

課室名：オリンピック・パラリンピック課

担当名：総務・企画担当

内線：2893

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
B55	東京オリンピック・パラリンピック推進事業費 東京オリンピック・パラリンピック推進事業費(債務負担行為)	一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	東京オリンピック・パラリンピック推進事業費		
事業期間	平成26年度～平成32年度	根拠法令	なし	宣言項目分野施策	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 061350 スポーツの振興		
1	事業の概要 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、会場自治体として、本県における気運醸成等を進める。 (1) 東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費 22,157千円 (2) 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会事業費 299,348千円 ア 気運醸成事業 214,120千円 イ ボランティア事業 51,619千円 ウ キャンプ誘致・宿泊対策事業 29,120千円 エ 推進委員会運営費 4,489千円	5	事業説明 (1) 事業内容 ア 東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費 22,157千円 庁内推進会議等の運営や県広報紙、ホームページでの情報発信、国・組織委員会・市町村等との連携・調整 イ 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会事業費 299,348千円 (ア) 気運醸成事業：カウントダウンイベント、競技体験、会場最寄駅周辺の装飾、大会期間中イベント、聖火リレー、広報 214,120千円 (イ) ボランティア事業：ボランティア育成、環境美化、多言語対応 51,619千円 (ウ) キャンプ誘致・宿泊対策事業：交流事業、ホームステイ運営体制整備、海外向けPR 29,120千円 (エ) 推進委員会運営費：会議費、事務局費 4,489千円 ウ 債務負担行為の設定 ボランティアに支給するユニフォームに要する費用について、平成32年度にかけて債務負担行為を設定する。 平成31年度 0千円(一般財源 0千円) 平成32年度 248,683千円(一般財源 248,683千円) (2) 事業計画 大会開催期間 オリンピック：2020年7月24日～8月9日 パラリンピック：2020年8月25日～9月6日 大会開催に向け、次の事業を行う ・関係機関等との連絡・調整(随時) ・大会開催気運の醸成(通年) ・都市ボランティアの育成(通年) ・ホストタウン交流事業の実施(通年) (3) 事業効果 ・東京2020オリンピック・パラリンピックの競技が県内で開催されることを認知している県民の割合が100%になる ・オリンピック4競技(バスケットボール、サッカー、ゴルフ、射撃)、パラリンピック1競技(射撃)の会場を抱える県として、オール埼玉で準備、受入体制を整えることで、東京大会の成功とレガシーの創出につなげていく。					
2	事業主体及び負担区分 (県10/10)							
3	地方財政措置の状況 なし							
4	事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×31人=294,500千円							
予算額		財源内訳				一般財源	前年との対比	
決定額	321,505	諸収入	177				321,328	85,014
前年額	236,491		342				236,149	